

(事業報告書様式 1)

1 施設概要

文化・自然体験施設名	茅ヶ崎公園自然生態園
所在地	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-4
公園面積、公園種別	94,828 m ² (うち指定管理区域: 約 30,000 m ²)、地区公園
主な施設	里山林、緩衝林、草地、谷戸田、池、谷戸の水場・水路
特徴	・ 地域に住む人たちが水と緑の豊かなふるさととの自然景観に親しみ、自然の尊さを学ぶことができる環境である。 ・ 横浜の内陸部にあり生きものの宝庫といわれる谷戸の源流部の生態系が残されている。
公園開園日	1995(H7)年 3 月 24 日

2 指定管理者概要

指定管理者名	特定非営利活動法人 茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会
代表者名	北村 民生
所在地	〒224-0037 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南 1-4
指定管理期間	2022(R4)年 4 月 1 日~2027(R9)年 3 月 31 日
現指定管理者管理運営開始日	2008(H20)年 4 月 1 日

(事業報告書様式 2)

1 文化自然体験施設の管理運営体制(事業計画書様式 2)の報告

☐多様性に富む里山の生物相と自然環境の保全

港北ニュータウンの開発が始まる以前の、横浜の里山で見られた豊かな生物相およびそれを育む自然環境の維持管理のため、様々な領域において再生の可能性を低下させないことを念頭に、調査と保全作業を行った。具体的には気候変化、外来生物侵入等が及ぼす影響をふまえ、自然や生物相の変化を把握しながら、場所、区域ごとの植物調査を基に、保全作業を計画し、日照改善による植生維持・再生を主目的に実施した。

☐地域の方々に親しまれ、地域と共に発展していく施設

地域の方々に親しんで頂く一環として、近隣の小学校の遠足、校外授業、課外活動の受け入れを積極的に行い、地域の子供たちと交流を深めた。

近隣の保育園や公共施設で活動する市民団体、自治会等に餅つきの道具や、先方の行事等で必要な機材をできるだけ、貸出し、提供することによって、地域とのつながりを深めた。

2 運営業務の実施計画・取組の報告

☐自然の再生

・ 過去の調査資料や、スタッフによる日々の植物観察を基に、気候変化、外来生物侵入等が及ぼ

す影響をふまえ、自然や生物相の変化を把握しながら、保全作業を計画し、日照改善による植生維持・再生を主目的に実施した。作業に当たっては、手作業主体に鎌と鋸等を使用した。事前に保護樹木・野草に目印をつけ、作業時に保護を図った。又、活動後も植物相を主体に植生を経過観察し、今後の保全活動の参考データとした。

一方、ナラ枯れや樹齢の高い木々の枯死や、人手不足等により作業が遅滞しているエリアの存在は、危険回避と植生保全の観点においても課題である。危険木については横浜市と現地確認を含め協議を行い、市の方で冬季に伐採して頂いた。一部の高木は地元の業者に委託し、伐採した。

- ・保全作業は、熱中症の恐れのある夏季の実施回数を減らし、代わりに冬季に実施回数を増やすなどの工夫を行い、ボランティアの方々と共に月平均4回程度、草、ササ、低木刈り、竹の間伐等を実施した。成果としてヤマユリ、ノコンギク、ウバユリ等が増え、生育改善、景観改善等を参加者の方々と共に喜ぶことができた。

- ・希少植物等の保護・育成のため保護植物の周辺を囲い、周辺の草刈り、ササ刈等はスタッフが適宜実施した。結果前年に引続きキジムシロ等保護植物の生育改善、増殖が確認できた。

- ・落葉や刈草は園内に数か所整備した場所に集積、堆肥化して有効に活用した。又、外来種駆除作業により捕獲したザリガニも堆肥とし、有効活用をした。

- ・別事業として、横浜市からの委託による水辺保全を継続し、施設の保全再生を充実させた。

□自然環境教育事業

- ・催し等を通して、子どもや地域の方々が自然の心地よさや生きものの面白さにふれ、学ぶ体験ができるよう種々工夫し、実施した。特に地元の小学校3校及び保育園1園に対しては、遠足、校外活動、課外活動を受入れ、環境学習の出前授業も含め都度、園の魅力に触れてもらう機会を確保した。

- ・季節ごとに植物の観察会を3回行った。

- ・水辺の生きものの観察会を1回行った。

- ・昆虫観察会を2回、生きものの観察会を2回、色々なことにテーマを絞ったすぼっと観察会を9回行った。

- ・草木等を活用し、その恵みを体感できる体験型催しとして、草だんごづくり等を9回行った。

- ・外来種のアメリカザリガニを引き取る催しを24回開催した。

□米作り

- ・化学肥料や農薬を使用しない、生態系に配慮した米作り体験を10回行う計画だったが、参加者にぜひ参加して頂きたい田植えや稲刈りは複数の予備日を設け、できる限り全員参加を図った。また成果を共有できるようオプションで餅つきを実施し、実施回数は延べ17回となった。お米の出来は、地元の元農家さんによると、『猛暑のわりにはよくできている』との高評価をいただいた。

- ・堆肥や池の泥、乾燥させたザリガニの「粉末」を適宜投入し、施設内植物等の有機的な循環の一助とした。但し、次年度へ向けての堆肥入れの際に、堆肥置き場にて毎年見られるカブトムシの幼虫が減少し、小型化していることが懸念事項。

□適切な施設管理

- ・ゾーンごとの管理目標をもとに樹木を伐採、草刈りを行い、木材や刈草はホダ木や堆肥、工作体験等に活用した。地域の方々にも薪など年中行事の材としてや工作物等利用のため提供。小学校には、当材を使って製作するネイチャークラフトの指導にもスタッフが出向いた。
- ・竹林の整備を行い、副産物として採れたタケノコや竹材を地域の方々に提供した。当園内で採取したタケノコはえぐみが少ないとの評判を頂いている。
- ・こまめなトイレ清掃と園路・施設点検を行い、トイレの便座交換、詰所及び物置隣接部の柵の補修・交換、ベンチの座面交換、外周柵の補修等設備修繕を行った。又、トイレは水洗の調子が悪かったが、期初に横浜市に対応いただき、改善された。

□身近な自然の普及啓発と地域の里山文化の伝承

- ・生物・自然の様子や魅力を掲示、SNS 等様々な形で発信した。又昆虫及び植物等についてのページを、今年度にホームページ上でリニューアルすべく、スタッフ内で話し合いを行ったが当該作業を行う時間がなく、更に次年度も検討を重ねることとした。
- ・地域でかつて行われていた里山管理、米作り、溜池の管理方法等の記録を保管し、折にふれて催し参加者に伝える活動を実施した。その一環として「昔の道」をテーマに、すぼっと観察会を今年も実施し、明治期からニュータウン開発が始まる直前の園付近の様子や痕跡を参加者とたどった。
- ・コロナ禍の影響も落ち着いてきたため、保全作業に参加された方々を中心に、サポーター間の親睦を深め、今後のより良い生態園運営につなげていく事を目的とし、年度末にサポーターデイを昨年に続いて実施した。
- ・サポーター会員：115人

3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

1 維持管理

来園者が気持ちよく自然を感じ、安心して利用できる施設をめざし、維持管理を実施。「維持管理水準書」及び「マニュアル」を基に点検を行った。

2 施設（建物等）・設備の維持管理

□日常点検：詰所・正門、トイレ周辺の異状を点検し、適宜清掃を行った。

□定期点検：施設設備の破損や劣化、また自然の枯木枯枝有無等の点検を実施した。（2月、3月）

□施設特有の不具合：枯木枯枝有無の点検、水辺斜面の崩落、園路面の陥没、根の張り出し、ハチや毒毛虫の発生状況に注意し日常点検、定期点検を行った。随時、園路草刈り、落枝除去、園路に張り出す枝類除去等整備を行った。本年度、スズメバチの巣は、巣造りの途中で放棄された小型の物以外は観察されなかったが、当園の柵外の管理区域内に、スズメバチが頻繁に飛来する樹液の出る樹木が複数個所有ったため、スズメバチの飛来が確認されている間は、掲示等行い、注意喚起を実施した。

□樹木・植栽等の管理：「維持管理水準書」及び年間計画及び植物調査の様子を基に草・ササ

刈り、低木・竹伐採、希少植物保護を行った。自然再生、安全管理、景観維持の観点をふまえた。内容は「管理運営体制（事業計画書様式２）・自然の再生」のとおり。

（事業報告書様式３）

令和７年度文化・自然体験施設利用状況（園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入）

	４月	５月	６月	７月	８月	９月
利用人数	919	649	519	353	260	497
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	319	798	253	346	356	536
総計						5805

*入園者概数及び催し等参加者の合計

（事業報告書様式４）

令和７年度修繕実績（※指定管理者が実施したもののみ記入）

修繕年月日	修繕箇所	金額（単位:円）	委託業者名、直営か
4/11,25,5/9,23,1/24,3/11	刈草置き場補修、杭交換等	0	スタッフ
5/7	詰所網戸補修	657	〃
6/4, 12,7/9,23,25,30	ベンチ交換、座面張替え、ニス塗り	1,309	〃
8/1	カメ、ザリガニ水槽底取付け	37	〃
8/1,12/12,1/14,18,3/25	ロープ柵補修、張り直し	0	〃
9/24,26,28,10/1,2,8,17,24,11/2,5	脱穀機修理	2,181	〃
11/12,2/4,6,18,20,27	棚補強、修理 （詰所、物置横）	220	〃
11/14	リヤカー荷台修理	0	〃
12/28	刈草入れ容器修理	0	〃
2/6,12,27	外周柵点検修理	9,233	〃
2/28	散水栓パイプ補強修理	0	〃
3/4	展示用テーブル補修	200	
随時	鎌・鋸刃研ぎ	0	〃
随時	チップパー整備、刃研ぎ	0	〃
合計		13,837	

(事業報告書様式5)

令和7年度増減備品一覧(※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

特に無し。

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	25/7/27	木が折れていた。(アンケート意見より)	書面のみであったので、どの樹木を指しているかは不明だが、当園のスタッフが対応可能な物は、適宜切断処理等を実施している。園路際等来園者の安全上問題ない場合は、スタッフの業務等の都合で暫く放置している物も有る。又、来園者への安全上問題無く、作業が困難な場所は、朽ちるのを待っている物も有る。
2	25/11/1	もう少し歩くスペースが広がったら良い。(アンケート意見より)	園路際に自生する貴重植物が多く、保護の為道幅が狭くなっている箇所が有る。適宜移植や、繁殖範囲を増やし、園路側は少し刈りこむ等の対応を実施している。
3	26/3 (書面に 日付け無し)	通り易いように両方の門を開けて欲しい。(アンケート意見より)	過去にも複数回、同様の要望をいただき、公園事務所も交えた検討を行ってきた。結果、来園者の全般的な管理の為に西門を閉鎖している。その旨を各門等の目につきやすい場所に掲示することを検討する。

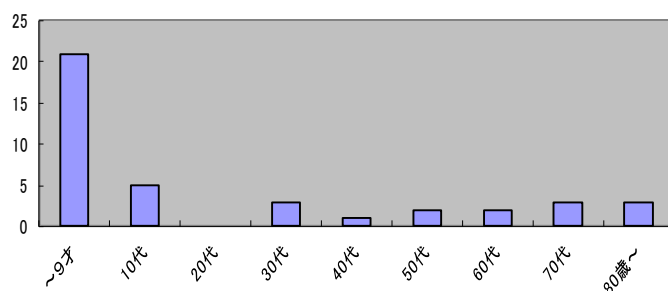
事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1		特になし	

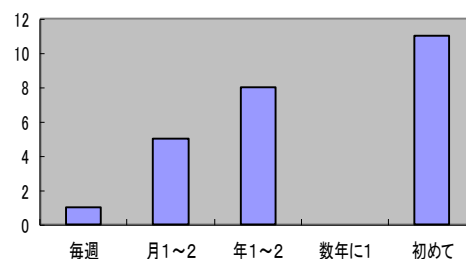
全回答数17

25年度来園者アンケート

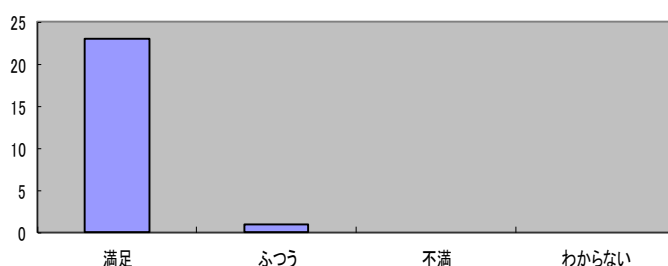
回答者年齢層



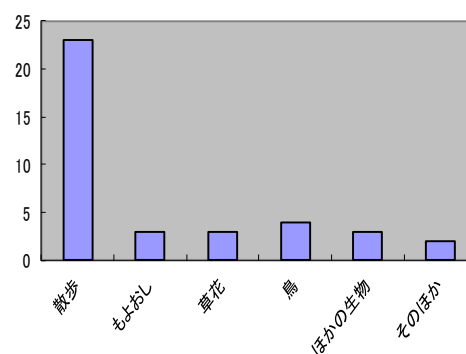
来園頻度



満足度



来園の目的



□よいところ・好きなところ

- ・キンランその他植物・ネームプレートが良い
- ・自然が豊か
- ・自然のまま、名札があること
- ・おさかなが美味しそう
- ・自然が豊で生物が幸せそうところ
- ・里山の生物が見られる所・四季を感じられるところ
- ・たくさんの生物がいたり、音が素敵だから

- ・色んな生物がいる
- ・虫がいる
- ・魚に会える
- ・魚がたくさんいる
- ・いろんなキノコが見つかった
- ・森林地であること
- ・自然がいっぱい

□気になるところ

- ・いっぱいしょく(?)コーナーを作ってほしい
- ・木が折れていた
- ・もう少し歩くスペースが広がったらいと思います

- ・カブトエビはいるのか？
- ・両方の門が開いていると便利

□ほか

- ・キンラン見れてよかった
- ・もっといろんな鳥が見られる場所に行けるようにしてほしい
- ・カメを増やす

- ・ほとんど歩きやすいです。
- ・カメが見たい。生物に触りたい

(事業報告書様式 8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	2025 年 8/9,9/20, 11/15	初任者研修	就業にあたっての心構え、基本的な遵守事項、事務手続きを説明した。新任 3 名。
2	2026 年 2/5,6	事故等緊急対応	催し・作業実施や開園日の事故発生時の緊急体制を再確認した。参加 5 名
3	2026 年 1/24,2/18	AED 講習	水難事故防止関連の安全講習会に参加したスタッフ 1 名が同時に AED の取扱い講習を履修。その後履修内容を他のスタッフに伝達。
4	2026 年 1/16	チェーンソー安全講習会	今年は近隣で当該の外部講習会が開催されなかった為、チェーンソーの取り扱いに関する安全作業に重点をおいた取り扱い・作業方法のテキストを有資格者全員で読み合わせ。参加 5 名。
5	2025 年 4/9 2026 年 2/5	植物調査	外部より専門家を招きスタッフと共に園内の植物調査、確認実施。延べ参加者 14 名
6	2025 年 11/18 12/10	人権研修	横浜市開催の講座にスタッフ 1 名参加し、講義内容を他のスタッフに伝達。参加 5 名

(事業報告書様式 9)

無料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
定例保全作業	スギナ抜き、草・ササ刈り、低木刈り、竹きり、伐採竹の処理と施肥、シイタケほだぎ作り、ほだぎ置場整備を実施。地域の方々と共に楽しく安全第一に行った。今年度から作業の安全を考慮し、子供の参加可能年齢を上げたところ、子供の参加者が殆どみられなくなった。但し、大人の新規参加者で複数の方が定着してきている。今後子供参加の多い、他のイベント時に保全への参加を積極的に呼びかける等の工夫を行いたい。	117	4/12,17,5/25, 6/14 22,7/12,9/28,11/8, 11/23,12/13,28 2026-1/10,25,2/14, 22,28,3/14,22,29

草刈り	保護植物の知識を共有し、丁寧な草・ササ刈りを実施。ノコンギクの群落拡大やガマズミ、マユミ、ノイバラ、ウグイスカグラ等低木類の開花、結実が良好となった。又、カラタチバナの新しい株も確認できた。参加者増が課題。	30	4/17,5/1,15,6/19,7/3,8/21,9/18,10/2,17,11/6,12/4,18 2026-2/19,3/5
植物調査	猛暑の8月を除き、1回/月のペースで定期的に調査を実施した。主に過去の調査データーを元に貴重種の確認を中心に調査を実施。	28	6/5,7/11,9/26,10/24,11/21,2026-1/16,-2/20,3/27
マダニ調査	近年のマダニによる人的被害予防の目的で、園内の園路沿いにおいて夏季に生息状況の調査を実施。生息は確認されず。	3	7/31
ネイチャークラフト	「森の風」(市民団体)による木の実等を使って行う自由工作。雨天中止複数回。	31	6/21,11/15, 2026-1/17,2/21
教育機関学習活動への協力	近隣小学校の観察授業・遠足・総合学習。クラブ活動(ザリガニ釣り、竹切り体験)。大学研究活動(埋土種子研究)。地域の秋祭りの神輿に稲束提供、地域の複数の公共施設等に七夕用のササ提供。餅つき道具貸出し。	-	随時
すぽっと観察会	スタッフが進行する観察会で、虫、多足類、オタマジャクシや草花の観察などをおこなった。実施を楽しみにしているリピート参加の方も増え、生態園の自然に親しみを感じていただける機会となった。	103	4/20,5/11,25,6/21,7/20,8/11,10/18,11/15,23,24, 2026-3/1,3/22
植物観察会	「野の花さんぽ」として、四季折々の植物観察会を、スタッフが講師となり、春夏秋の3回実施した。	11	4/20,7/20,11/15
ザリガニパンフレット	アメリカザリガニ啓発パンフレット。近隣小学校3校及び「めざせ!ザリガニマスター」新規参加者に配布した。(約200部)	-	5~10月の開園日

(事業報告書様式9)

有料事業実施報告一覧（自主事業含む） ☆決算額を入れてください

事業名	事業内容・実施結果	参加数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費 (円)	自主事業収入(円)
「昔ながらの米作り」	苗床作りから堆肥入れまで計17回実施。玄米約80kgを収穫した。今年度はスタッフの労力も考え、昨年より少し苗を植える範囲を狭めた。 畦の防水対策により常に田んぼに水が張った状態を維持できたが、猛暑の影響もあり水温の急激な上昇が見られた為、水温の上昇を抑制すべく、井戸のポンプアップの時間を延長させるなどの対策を講じた。結果イネの成長及び品質は例年並みに保つことができた。参加者数は昨年度と同等程度で、十分に米作りを満喫しながら参加者同士の交流を促すことができた。深い泥田での大変な作業ではあったが、毎回親子ともに楽しみ、自然環境や食についても考える機会となった様子。オプションとして実施した餅つきも多くの方が参加し、楽しんで頂けた。 次年度も運営面で省力化の工夫が必要となる。	438	4/19,4/26 4/27,5/18, 5/30,6/1, 6/7,7/12, 7/27,8/3, 9/20,10/4, 10/5, 11/1,11/2 3/1,3/8	100,946	294,500
自然体験「草だんご作り」	今年も3月開催としたが、ヨモギを摘んで、かまどで茹で、蒸し、広場ベンチにて親子でお団子を作り、いただいた。ヨモギの香りが弱いのが懸念点。原因を調査中。	18	2026-3/28	6,496	15,300
自然体験「森となかよしキッズ in 生態園」	自然の中で、五感を使った自然遊びや探検などを行った。親子や参加者同士で、楽しみながら季節を感じるプログラムで、毎回楽しみ参加され	11	11/22	6,308	3,600

	る方もいる。今年度は天気恵まれず1回のみ開催となった。				
親子自然体験「たき火を楽しもう」	幼児親子で、山を散策し小枝や、焚き付けに使う杉の枯れ枝を拾い、焚き火にくべたり、焼き芋を焼いて食べる体験をし、楽しんで貰った。	12	2026-2/4	1,054	4,000
生きもの観察「春のクモをさがそう」	生態園の中で見られる多様なクモを親子で観察した。	20	4/26	6,250	4,500
生きもの観察「両生は虫類」	園内で捕獲したヘビ、オタマジャクシや講師持参の生きものを観察。実際に手で触れ、感触を感じながらじっくりと観察をした。ヘビやカエル、サンショウウオと触れ合う貴重な機会となり大好評であった。	32	5/3	9,130	8,800
生きもの観察「水辺の生きもの観察会」	生態園の中や周辺で見える事ができる水辺の生きものを観察した。できれば園内の生きものを捕獲する場面もあれば良かった。	31	9/23	3,236	6,300
生きもの観察「秋の虫をさがそう」	園内で見られるチョウやバッタ、カマキリ、トンボなどを捕獲しながら観察した。	19	9/27	6,534	4,400
生きもの観察「越冬する昆虫たち」	寒い冬を昆虫や「ムシ」たちがどのように過ごしているかを観察した。寒い冬の中でも意外に多くの昆虫たちに出会えて、参加者は非常に楽しんだ様子だった。	26	2026-1/31	10,039	5,900
おとなの焚き火	山で枝を拾い集め、火をおこすところから始め、たき火を行った。焼き芋を作り、カマドで湯を沸かし、お茶を飲みながら参加者の皆さんと語り合った。初参加の人も多く、来年又開催して欲しいとの声も聞かれた。	11	2026-2/6	5,809	10,000
「めざせ！ザリガニマスター」	園外で捕獲したザリガニ計 1,503 匹を引取り、参加者にカードを進呈。	24	5/3～10/26	0	2,900

	ザリガニは田の施肥に活用した。				
「ようこそ生態園へ」(植物冊子全4冊)「生きものたち」	サポーターグループが作成。園内植物約 300 種やを分かりやすく解説した冊子を開園日に展示、頒布した。	10	通年	0	9,300
合計				155,802	369,500

(事業報告書様式 10)

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数	実施月
トイレ清掃	日常清掃	横浜市南区 (株)斎藤商会	114,400	260 回	年間 (月 水 土 日 曜 日)
トイ レ 開 錠 ・ 施 錠	トイレ施設の開閉 朝 9 時、17 時	個人	59,600	199 回	年間(月 火 ほか)

事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	11,399,446	0	11,399,446	11,624,446	-225,000	物価・賃金水準変動に伴う追加
利用料金収入						
自主事業収入	316,200		316,200	369,500	-53,300	催し参加協力金&保険料
雑入	158,000		158,000	113,548	44,452	サポーター会費、寄付金
その他雑入				14,234	-14,234	利息
収入合計 (a)	11,873,646	0	11,873,646	12,121,728	-248,082	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	8,170,745	112,000	8,282,745	7,924,590	358,155	
給与・賃金	7,828,471	112,000	7,940,471	7,601,071	339,400	
社会保険料	87,914		87,914	64,888	23,026	労働保険
通勤手当	230,360		230,360	274,870	-17,510	
福利厚生費	24,000		24,000	10,761	13,239	慶弔・見舞い、お茶等
勤労者福祉共済掛金						
退職給付引当金繰入額						
事務費	985,008		985,008	1,115,397	-130,389	
旅費	40,000		40,000	18,696	21,304	市内交通費、駐車場代、ガ

						ソリン代,旅費
消耗品費	55,000		55,000	62,444	-7,444	
会議賄い費	20,000		20,000	7,304	12,696	お茶類
印刷製本費	39,950		39,950	14,100	25,850	紙, インク, 版下, 印刷代 等 (チラシ, たより, ニューステ ター
通信運搬費	199,800		199,800	103,968	95,832	電話・ネット 使用料, 切手, 運送料
使用料及び賃借料	60,652		60,652	53,597	7,055	
(横浜市への支払い分)						
(その他)	60,652		60,652	53,597	7,055	給与ソフト使 用料, H P : Wix 使用料 等
備品購入費	150,000		150,000	240,838	-90,838	P C (減価償却)
保険料	123,606		126,606	114,152	9,454	施 設 賠 償 保 険, 火 災 保 険, レクレ ーション保険, 傷害保険, 生 産物保険
振込手数料	29,300		29,300	20,105	9,195	振込手数料(給 与振込・他)
リース料	79,200		79,200	34,265	44,935	A E D リース 料
手数料						
その他事務費	187,500		187,500	445,928	-258,428	ホームページ メンテ料,研修 費・研修交通 費, 田んぼ事 業・教育事業 の補助費等, 謝 礼金・交通費, そのほか雑費
自主事業費	201,300		201,300	155,802	45,498	催し関連: 保険料・消耗 品・材料費・ 講師料等、諸 費等
管理費	1,480,280	92,546	1,572,826	2,314,189	-741,363	
光熱水費合計	※横浜市負担					
光熱水費 (電気)	※横浜市負担					
光熱水費 (ガス)	※横浜市負担					
光熱水費 (水道)	※横浜市負担					
光熱水費 (下水道)	※横浜市負担					
清掃費	225,460		225,460	216,460	9,000	内 トイレ関連 委託分 (清掃 & 鍵開閉) 174,000
修繕費	50,000		50,000	16,713	33,287	
機械警備費						
公園及び公園施設設備保全費	1,204,820	92,546	1,297,366	2,081,016	-783,650	
施設 (建物)・設備保守						
園地管理費	663,520	46,273	709,793	978,906	-269,113	(内 799,700 木の伐採)
その他保全費	541,300	46,273	587,573	1,102,110	-514,537	(内 799,700 木の伐採)
公租公課	1,036,313	20,454	1,056,767	583,595	473,172	
公租公課 (事業所税)						
公租公課 (消費税)	1,036,313	20,454	1,056,767	582,995	473,772	

その他公租公課				600	-600	印鑑登録証
事務経費（本部分）						
雑費						
支出合計（b）	11,873,646	225,000	12,098,646	12,093,573	5,073	
差引（a-b）	0		0	28,155	-28,155	

（参考）指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計（c）						
設置管理許可支出合計（d）						
差引（c-d）						

今年度の収支報告

*「人件費（賃金）」「園地管理費」「その他保全費」について

園内の場所的な安全面等を考慮し、スタッフの業務による木の伐採をやめ、一部の高木とまとめて、地域の造園会社が発注。そのためこれらの予算計画と実質支出に差がでている。

*無料観察会「すぽっと観察」「野の花さんぽ」の参加の方から、お気持ちによる寄付金を頂くことが多く、今年度はこれらの無料観察会参加者の保険料をそこから出すことができた。

（今後の課題として、リピーター参加の方でも飽きない内容の検討が必要）

*印刷製本費は、「せいたいえんだより」の配布を近隣小学校4校の児童数分からクラス数分へと変更をしたため、予定より少なくなっている。

*トイレ清掃

業者による清掃の巡回ルートの都合から、金曜日委託に切り替えることが出来なかった。（業者清掃のない日のスタッフ清掃分費用別途 31,500 円）次年度も引き続き、業者に交渉を行いたい。

*AEDリース料

期の途中で、初期契約満了後の再リースとなったため、リース料が予算より少額となった。

*修繕費

修理技能を持ったスタッフの修理により（複数件）、業者へ修理を出さずにすみ、修繕費が少額となった。

(事業報告書様式12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価 (◎・○・△)	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2：運営業務の実施計画・取組)	☐ 植物調査の実施 4回/年 ☐ 保全作業の実施 21回/年 ☐ 施設の全体総点検の実施：2回/年	里山の生物相と自然環境を保全し、地域に親しまれる施設をめざし、以下の取り組みを実施した。 ・植物調査：11回/年 (8月以外毎月実施) ・保全作業：8月を除く各月1回以上実施、合計19回実施。 ・施設の総点検：建屋等主要設備点検：1回実施。外周柵の点検：1回実施。	◎	・動植物調査及び保全作業については、熱中症の危険が及ぶ8月は避けて今年度も実施したが、今後は熱中症の危険度が高い7月、9月も実施箇所や実施内容を工夫し取組む必要が有る。
業務運営2 (事業計画書様式2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)	☐ 個人情報保護研修(事務局・支援スタッフ)：1回 ☐ 事故災害対策研修(同上)：3回 ☐ AED講習(同上)：1回 ☐ チェーンソー講習(同上)：1回 ☐ 人権尊重講習(同上)：1回 ☐ 労務関連講習(支援スタッフ)：1回	事務局及び支援スタッフメンバーに対し、その業務内容に応じた各講習を実施した。 ☐ 個人情報保護研修(事務局・支援スタッフ)：1回 ☐ 事故災害対策研修：横浜市から都度発信される類似施設における発生事故案件を共有すると共に、発生させない方策を事務局、支援スタッフで話し合い。：3回以上実施。 ☐ AED講習(同上)：事務局長が外部の講習会に参加、その内容を事務局及び支援スタッフに伝達。 ☐ チェーンソー講習(同上)：今年度近隣の外部講習会が非開催の為、事務局と支援スタッフで安全マニュアルの読み合わせ、意見交換。 ☐ 人権尊重講習(同上)：事務局長が市主催の講習会に参加。講習会	○	・次年度より事務局に新スタッフが加入予定であるため、「個人情報保護」等、業務に深く関わる案件を優先して、次年度は講習の計画を立案する。

		内容を事務局及び支援スタッフに伝達 □労務関連講習（支援スタッフ）： 労務管理スタッフより支援スタッフに就業規則及び就業時間等の講習を1回実施。		
業務運営③ （事業計画書 様式3：利用者サービスの向上・利用促進策）	□年度アンケート集計、内容の分析 □アンケート台を設置、広く意見を求め、対応結果は開示（掲示及びホームページで公開） □園で働くスタッフの意見も検討し運営に反映	自然の恵みを楽しみ、知識も得られるように様々な物を提供した。 □アンケートは16件取得。概ね好評な感想を頂戴した。「心が落ち着く施設」「非常に癒される施設」等の意見も複数。又、開花している花の名札掲示が好評。 □スタッフは来園者の方の声を参考に展示物の内容等を都度工夫し対応。	◎	・引き続き、地域の方々に親しまれる施設をめざし、様々な自然の恵みを提供していく（特にタケノコは好評）。 ・クイズ看板は自然への関心をやさしく引き寄せることができ好評だった。更新には催し参加者のこどもの知恵も引き込む予定。 ・ビンゴも子供を中心に多くの方に体験して頂けた。今後も生態園の魅力を伝える手法として更新・工夫し、活用していく。
業務運営4 （事業計画書 様式3：広報・プロモーションの取組）	□催し開催後は毎回ブログを更新 □ホームページ掲載の風景写真等の更新：4回/年程度 □「せいたいえんだよ	SNS や広報誌を通し、自然の魅力を発信した。2年前開始したインスタグラムも継続。 □ホームページ ・催し等の情報案内 ・「今月の植物」12回更新（同時	◎	・引き続き、SNSを利用し、担当者の負担の少ない形での広報を行う。 ・直近のスポット観察会のお知らせ

	り」の発行：2回/年	に掲示も) ・ブログ・インスタ約100回更新。 □地域・会員 「せいたいえんだより」2回、 ニューズレター6回発行。		をより多くの人に見て貰うべく、ホームページ上での告知方法の変更を検討中。 ・直近のスポット観察会のお知らせをより多くの人に見て貰うべく、ホームページ上での告知方法の変更を検討中。
業務運営5 (事業計画書様式3：市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	□保全作業回数：2回/月 □保全作業参加ボランティア人数：8人以上/回 □社会福祉協議会、つづき my プラザと連携しボランティアを受け入れる □ボランティアを促すチラシの掲示及びSNSの工夫	□保全再生事業 会員、ボランティアさんと共に保全に取り組んだ。年間19回 □保全作業参加ボランティア人数：1回平均5人弱と目標未達。しかし直近参加で、定着しつつあるボランティア参加者は複数名 □社会福祉協議会、つづき my プラザからのボランティア紹介を継続。今年度の夏休み中の中高生のボランティア参加は4名、又、社会福祉協議会から紹介で参加のボランティアはその後友人も誘われ参加。 □チラシの掲示及び SNS を見て参加されるボランティアも複数名。	◎	・今後の若年層が参加し易いよう、「竹切り体験＋竹工作」のようなイベントを盛り込んだ保全作業の実施も検討したい。
業務運営6 (事業計画書様式3：地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)	□小学校高学年以上にも自然に親しむことができるイベントの企画 □地域指定管理団体(含む予定団体)との連携	□クモ、両生・は虫類、水辺の生きものの各観察会においては、数名の小学生高学年の参加があった。 □近隣の都筑中央公園とは、講師の融通や、生息する生きもの(フクロウ、カエル類等)の密な情報交換ができ、フクロウの生息調査においては、連携して継続実施している。又、せせらぎ公園の古民家施設の運営を計画している団体に	○	・小学校の高学年以上になると「自然の中で遊ぶ」機会が著しく減少している。彼らに少しでも長く自然に親しむ楽しみを継続してもらうために、彼らの興味のありそうなテーマ

		対しては、適宜運営方法等の助言を行った。		を今後も考え計画していく。 ・都筑中央公園は、お互い自然生態系の維持に欠かすことのできない施設であると考えている。今後は更に連携を密にし、でき得れば人材交流も密にしていくことを考慮したい。
業務運営7 (事業計画書様式3:本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)	□市内中小企業への優先発注:100% □限られら資源の有効活用及びプラスチック製品の購入量削減 □ゴミの削減及び事業系ゴミの分別回収	□市内中小企業への発注は100%達成。(トイレ清掃、廃棄物収集運搬・処分、樹木伐採) □資源の有効活用:園内で発生する伐採樹木の活用(杭、薪、柵等)。	○	・公園管理の基礎的規則として引き続き取り組む。
業務運営8 (事業計画書様式4:公園の魅力を高める施設保全・管理)	□保全作業(24回/年)及び草刈り作業(22回/年)、他日々のスタッフによる管理作業等により、生物多様性や生態系を意識した自然の再生 □樹林、草地、田圃、水辺等が織りなす里山景観の維持 □自然への働きかけが見える施設運営	里山景観を維持し、植生豊かな施設をめざし、取り組んだ。 □ボランティア参加の保全作業、草刈り作業の他貴重植物保護を主眼にしたスタッフ独自の保全作業も適宜実施。実施回数:153回 □景観及び「明るい森づくり」に配慮した整備;植物保護、常緑広葉樹、低木間伐等実施 □案内設置;生物看板、自然クイズ看板、植物名札設置	◎	今年度は、園内の常緑樹の伐採をかなり進める事ができ、「明るい森」の姿になりつつある。 次年度も引き続き、「生態園」の魅力を維持できるように取り組む。

業務運営9 (事業計画書 様式4:施設 (建物等)、設 備の維持管 理、修繕計 画)	□日常点検、巡視で各 施設・設備の劣化の 確認 □建物、橋等の基礎も 含めた劣化点検 : 2回	日常点検、定期点検を実施し、以 下取り組みをすすめた。 □木製設備の腐食劣化についてグラ つき等確認した場合は都度補強、 補修実施。(倉庫棚、倉庫天井、展 示台等) ・花壇周りのロープ柵の木杭が腐 食、ロープも一部たるみ⇒木杭を 園内の伐採木にて製作、ロープ張 り直し。 ・外園部のロープ柵のロープ紛失 ⇒ロープ再設置。 □建物、橋等の総合点検実施 実施回数: 1回 □外周柵の点検。実施回数: 1回	◎ ・引き続き、安全 に安心して利用で きる施設であるよ うに点検と管理を 行う。 ・山中の階段整備 を予定。 ・田圃の畦の橋が 1か所地盤の影響 で落ち込み、冠水 状態となってお り、応急処置及び 抜本的対策の実施 を検討する。 ・園路脇のロープ 柵は必要箇所のみ とする。
業務運営10 (事業計画書 様式4:樹 木、植栽等の 管理)	□保全前の下見点検 で、保護植物のマー キング等による保護 実施 □横浜市と相談を行 いながら大径木、高 木の伐採処理を秋・冬 の時期に横浜市等に 依頼 □危険木については、 確認次第都度横浜市 に連絡し確認 □管理作業が生息生物 に負担がかからない ように配慮	年間計画をもとに保全管理を行っ た。 □保全作業前の実施予定場所の植生 確認、保護区域及び保護植物マー キング: 都度実施 □横浜市の管理部局と管理区域の危 険木を調査、伐採樹木選定。伐採 実施。 □横浜市の方で手を付けない林奥の 常緑高木について、植生の点から 伐採木を選定し、3月に伐採実施 □上記伐採作業前には、保護区域、 保護植物をマーキング、作業前に 作業員の方と確認実施。	◎ ・ボランティア参 加者の定着、(特に ある程度経験を経 たおとなの方)を めざす。 ・ハチ被害や作業 事故ゼロを第一に 行う。

業務運営 11 (事業計画書 様式 4 : 巡 視・清掃)	□トイレ及びその周辺の清掃：随時 □園路の巡視、落ち枝拾い、ゴミ等の除去 (含む開園日) ：3回以上/週 □詰所及び正門周辺の清掃(含む開園日) ：随時	□トイレ及びその周辺の清掃は随時実施 □巡視、落ち枝回収は都度実施 □詰所及び正門周辺の清掃を適宜実施。	◎	・引続きトイレは清潔に保てるよう、日々の点検、清掃等を心がける。
収支 (事業計画書 様式 7 : 収入 確保、経費節 減策)		予算計画に従い支出を進めた。伝票、出納帳、経理作業を正しく行い、以下のことを努めた。 ・準備、経費、協力金負担の軽減の工夫 ・消耗品類の丁寧な使用と物品購入の十分な検討 ・類似施設の講師謝礼の価格調査。	◎	・昨年度以上に以下の値上げは、事業運営に影響大である。さらなる工夫は必要だが、厳しい。 菓子類・飲料(作業休憩時提供)、食品(食品利用イベント)、消耗品類全般(イベント等)、保険料(イベント)